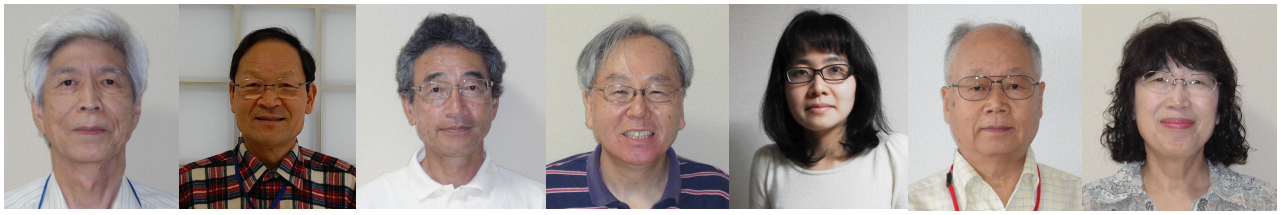
〒358-0003 埼玉県入間市豊岡 4-2-2　　TEL/04-2964-2511　FAX/04-2964-2519
E メール/ center@machisapo.com　http://iruma-skc.seesaa.net/

窓口スタッフの新体制

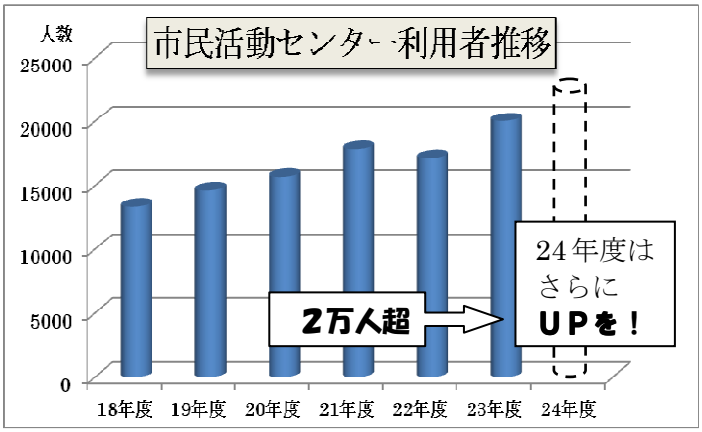
今年度より市民活動センターの窓口が新体制になりました



佐藤(月)　上山(火)　渡部(水)　木内(木)　宇野(金)　大杉(土)　石川(日)

今まで、平日の午後１時から５時までの間、まちサポのスタッフが窓口で皆様の対応をさせていただきましたが、５月から土曜、日曜の午後も窓口スタッフが常駐するようになりました。
従来同様お気軽に声をおかけください。

平成 23 年度市民活動センターの利用者は２０，０００人を超えました



平成２３年度の市民活動センターの利用者数は、２０,０４８人でした。利用回数も2,１７２回と、２２年度の1,７６１回を上回りました。より多くの方に利用していただき、入間市の市民活動を活発にしてゆきたいと考えております。

≪コラム≫

「コミュニティカフェって？」イルミン１階の奥の部屋を登録団体の方に開放している部屋です。
予約なしで、１３：００～１７：００の間、ご利用できます。テーブルは２つ、ＰＣも使え、インターネットもご利用できます。また、有料（50 円）でコーヒー、紅茶など**セルフ**で飲むこともできます。他の団体との交流の場としてご利用ください。

また、ただいま、節電対策でコミュニティカフェ窓の前にゴーヤを育てています。
グリーンカーテンになりますよ～に♪

6.23 市民活動センター登録団体交流会 が開催されました。

第 15 回市民活動センター登録団体交流会が、平成２４年６月２３日(土)　13 時 30 分～16 時 30 分に活動センター　活動室１を会場にして開催されました。参加者：２８団体、４７名

第一部　センター利用者連絡会

① Ｈ２３年度センター利用状況②Ｈ２３年度印刷会計③活動報告
配布資料を基に利用者連絡会山増代表より説明があった。

② 意見交換

・ センターの空き状況を HP で見れるようにしてほしい。
・ プロジェクターをもっとはっきりと見られるものに変えてほしい。
・ カフェに文房具を置いてほしい。カフェを午前中から使用できないか？
・ 利用者連絡会とはどのような会なのか？　などの質問・要望があった。

第二部　発表とワークショップ

「団体活動の課題をどうやって解決するか」について、まず３人の発表者から話題提供いただき、その発表を参考に３グループに分かれてグループ討議をした。

A.発表

①「リーダーに期待する」→山増さん(まちサポ)

・ 和を大切にし、話し合うが基本であり、人の話を良く聞くことの出来る人
・ 自分がしょって立っていると思わないことや悩んだ時には会の目的に立ち返ること
・ リーダーには理性的、冒険的、防衛的、感覚的なタイプがある

②「若い人にどうやって会に入ってもらうか？」→高橋さん（入間青年会議所）

・ まちづくりに参加していない人には楽しい、面白い、わくわくするという会の情報発信が不足していること、発信しているつもりでも明確に伝わっていないことが多い。いろんな機会を捉えて発信していきたい。

③「運営費の確保」→野田さん(入間おやこ劇場)

・ 会の現状報告で、会員４００人、鑑賞活動・体験活動など実施していて、収入は会費で８割を賄っている、支出は例会費、事務局費など
・ 一部の人の負担となりがちだが、楽しみながらやるのがコツ、皆で達成感を共有する
・ 舞い込んだ話は断わらない、使途を限定すると寄付は集めやすい、日頃から内外の人々との関係を大切に、情報収集にアンテナを張る

B.ワークショップ

全員が３グループに分かれて発表を参考に、感想や自分の会の現状、悩みについて話し合った。

C.グループ発表

各グループから話し合った内容を５分以内で発表した。
・リーダーになる人がいない、・会員拡大をしたいが集まらない、・会員数が減って運営費で悩んでいる。
・同じような活動をしている団体間のネットワークづくりが必要であり、このような交流会をもっともっと活発にしていって欲しいといった意見もあった。

・・・出張コミカフェの休憩(コーヒーブレイク)が楽しかったと言う声が多かった・・・

活動団体紹介

このコーナーでは、市内で活動する団体の皆さんに登場いただき、活動内容やイベント情報の提供をしています。

福祉のある優しいまちづくりを目指す市民の会
つながろう入間
代表：鈴木 正敏　TEL 2963-5054
メール：7ki-suzu@m.ictv.ne.jp

「つながろう入間」は今年の５月に「地域福祉を進める会」と「介護保険わかろう会」が発展的活動のため合併した新たな会です。

「みんなが安心して暮らせる優しいまち、ずーとこのまちで暮らしたい、そんなまちを自分達でつくろう」をキャッチフレーズとして地域福祉の増進に寄与したいと活動しています。

無縁社会などと呼ばれている社会情勢のなか、大震災があり、地域における支え合いの必要性を痛感しています。「震災でやっと気づいた絆かな」です。また、「向こう三軒両隣」、「遠くの親戚より近くの他人」は、今忘れられている言葉ですが地域福祉を端的に表現している言葉と思います。

この忘れられ欠落した近隣の信頼関係や絆の回復に「地域がつながる・みんなつながる」を提案し、行政・社協と地域との中間的位置でセミナーや各種提案活動を行っています。

昨年度は、市民提案型協働事業として５回のセミナーと金子中学校に対する認知症サポーター養成講座を実施しました。

また、市から独居高齢者に対する救急キットの配布が実施されましたが、これも私たちの提案から実現したものであります。

今年度は、高齢者福祉課の行なう学校に対する認知症サポーター養成講座の協力・支援、孤立死防止策の検討、「ささえあい東藤沢」等支え合いの仕組みづくりへの参加・支援及び社協への協力を主な活動にしています。

支え合いの仕組みでは互助を目的とした「ささえあい東藤沢」と地域住民の融和団結を目的とした高倉地区の「ほのぼの南」を二つのモデルとして、各地域に紹介し地域住民がその必要性を認識し、どちらかの方法でもまた、新たな形の支え合いでも構築して安心して暮らせるまちにしてもらいたいと思っています。

各地域に多くの仲間を増やすことで目的は達成できると思っていますので、協賛して頂ける多くの方の参入を心からお待ちしています。

第二水曜日の 19:00 からイルミンで定例会を実施していますので、気軽にお立ち寄りください。

NPO 法人バーブレスフック普及協会
〒358-0022　入間市扇町屋５-１-１８
メール：office@npo-barblesshook.com

当協会は釣りジャンルを超えた釣り人有志が集まり、より安全で楽しい釣り環境の実現を目指して２０００年春に発足しました。釣り人口の増加は釣りバリによる事故、魚類資源の枯渇、野生生物への被害など深刻な社会問題を引き起こしています。

当協会ではより精力的に活動を推進するために２００５年１月５日付けで法人格を取得し、“**NPO 法人バーブレスフック普及協会**”として新たなスタートを切りました。釣り人がバーブレスフック（アゴなしバリ）を使用し釣りマナーと意識が向上することで、水辺環境保全、継続可能な水産資源の利用へ寄与できると考え活動しています。特に釣りを通じた自然体験学習に積極的に取り組んでいます。「魚にも人にもやさしいバーブレスフック」の普及を通して、より安全で楽しく自然と調和した釣り環境を実現する活動にあなたも参加してみませんか。

≪当協会が主管運営する本年度のイベント≫

平成 24 年度第 25 回 県民総合体育大会・入間川家族釣りの祭典 2012
平成 24 年７月 29 日（日） 入間川河川敷　豊水橋
申し込み先=NPO 法人バーブレスフック普及協会 事務局内入間川家族釣りの祭典実行委員会 Ｅメール=office@npo-barblesshook.com FAX=０４-２９６２-３６４８ 詳しくは http://npo-barblesshook.com/を ごらんください。

霞川夏休み水辺の生き物教室
平成 24 年８月５日（日） 霞川河川敷　大字中神地区　駐車場あり
主催=霞川をきれいにする会 後援=公益財団法人日本釣振興会
申し込み先=入間市役所環境課環境保全担当 04-2964-1111（内線 3223）。

=H23 霞川夏休み水辺生き物教室の様子=

センターからのお知らせ

◆活動センターに登録するとこんなに便利です

１）会議や研修、そして講演会の実施などに活動室が無料で使えます。
　PC やプロジェクター、マイクなどの備品も利用できます。（写真上）
　３カ月前から予約が可能です。
２）活動団体毎の連絡ボックスが使えます。団体間の情報交換に利用して下さい。
３）センターホームページに活動団体のイベントちらしやお知らせ等を掲載できます。また、団体メーリングリストに登録するとセンターからのメルマガが受信でき、逆に各団体への情報一斉配信もできます。
４）コミュニティカフェが利用できます。PC やプリンターがあり便利ですよ。
　一杯 50 円でコーヒーも飲めます。（写真下）
５）団体活動に係わる会報やチラシの作成などに印刷機が利用できます。
　使用料は、製版代：５０円／１枚、印刷代@１円×印刷枚数

・・・詳しくは、登録団体に配布する「入間市市民活動センターの使用にあたって」をご覧下さい。

<u>未だセンター登録していない活動団体の皆さん</u>
お気軽にセンタースタッフにお尋ねください。
市民活動センターについて紹介します。
そして、登録に必要な書類や手続きについて説明します。

登録団体の皆さん
センターを活用して下さい

◆平成２４年度の市民提案型協働事業が始まりました。

第１次審査、第２次審査を通過した７件の事業が平成２４年度の市民提案型協働事業としてスタートしました。今年度に実施する協働事業は以下のとおりです。

	事業名	団体名	担当課
1	自立歩行支援のためのことばの地図（道案内）作成事業	ＮＰＯ法人ことばの道案内	障害福祉課
2	狭山茶　お茶っこサロン	入間市博物館ボランティア会	博物館
3	観光振興に関する事業	入間市の文化遺産をいかす会	商工課
4	加治丘陵地内の植生調査	加治丘陵をみまもる会	みどりの課
5	市民活動情報ポータルサイト構築事業	ＮＰＯ法人まちづくりサポートネット元気な入間	自治文化課
6	谷田の泉の自然環境保全	“未来に残そう”谷田の泉を守る会	みどりの課
7	子育て親子を支える支援員の養成講座	ＮＰＯ法人子育て家庭支援センターあいくる	児童福祉課

この事業も３年目を迎え、実施する事業も福祉、観光、まちづくり、環境など、多分野に渡っており、この事業を通じた市民と行政との協働が一層進んでいることが感じられます。

http://www.machisapo.com/
編集・発行／まちづくりサポートネット元気な入間（市民活動センター内）